	平成 30 年 9 月 20 日 (2018 年)		
吹田市長	あて 住所 神戸市中央区栄町通4丁目2番13号		
	※注1 氏名 印		
	事業所 代表取締役 高島 武郎		
	電話 (078) 361 — 5100		
事業の名称	(仮称)ワコーレ津雲台計画 新築工事		
対 象 事 業 区 域	吹田市 津雲台5丁目20番85		
※注1	住 所 大阪市西区西本町1丁目4番1号		
設計・代理者	株式会社IAO竹田設計 氏 名 山口 隆幸		
	電話() 一 (担当者:)		
※注1	住 所 大阪市西淀川区佃2丁目10番5号		
工事施工者	株式会社ハンシン建設 氏 名 代表取締役 谷 昭人		
	電話()		
 事業予定期間	平成 29 年 (2017 年) 9 月 16 日 から		
	平成 30 年 (2018 年) 9 月 30 日 まで		
	計画部分 既存部分 合 計		
	対象事業面積 1,256.70 m ² 1,256.70 n ³ 1,256.70 n ⁴ m ³ 1,256.70 n ⁴		
 事業の規模	建築面積 650.65 m² m² 650.65 m² 延べ面積 2,190.34 m² 2,190.34 m²		
,	最高の高さ 14.13		
	*** *** *** *** *** *** *** *** *** *		
	構造・階数		
	区分 図 新築 □ 増築 □ 改築 □ 新設 □ 増設		
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業		
	□ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的:)		
☑ 建築物の新築又は増改築の事業			
事業の目的・内容	□ 工場·事業場 □ 住宅·共同住宅(24 戸)		
	□ 商業施設□事務所□公共的建築物□□スのは、		
	│		
	□ その他(
 環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる		
777	・ガイドライン取組事項チェックリスト		
】 添 付 書 類	・工事関連車輌通行ルート図		
	 ・その他必要と認める図書 第 第		

注1 法人にあっては、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

資源消費・環境負荷・廃棄物の削減と自然環境との共生(健康・快適性への配慮)に資する持続可 能な都市と建築空間の創造・維持管理により、健康で安全な都市環境の実現に努めます。

当該事業における 環境まちづくり方針 の景観などにも貢献します。

1. 実施率と主な実施内容

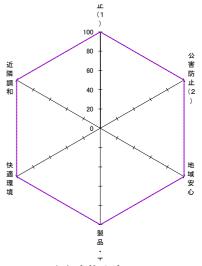
1-1. 工事中

実施率 100 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施した・一部実施したの項目数 50 該当なしを除いた項目数 50

---:方針, —:実施報告書



実	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
施報生	20	13	4	3	5	5
告書	20	13	4	3	5	5
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方	20	14	5	3	5	5
針	20	14	5	3	5	5

主な実施内容

- ・自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしませんでした。 ・大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく流入車規制を遵守しました。
- ・周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。 ・近隣住民に対し、施工前は、工事概要や作業工程等を十分説明し、施工中は、適宜、現況と今後の予定を知 らせ、理解と協力を得るようにしました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率

パーセント

実施した・一部実施したの項目数

28

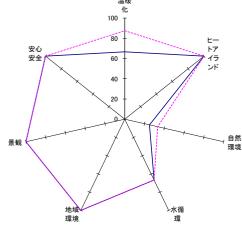
(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

35



80



	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
施報告	6	1	1	2	11	4	3
書	9	1	4	3	11	4	3
			'	' /		ı	

						•	
	地球温暖化	ヒートアイランド	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方	7	1	1	2	12	4	3
針	8	1	3	3	12	4	3

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

8.2 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

給湯効率95%・暖房効率89%の給湯器(エコジョーズ)を24台採用しました。 照明器具は消費電力の少ないLEDを463台採用しました。

(2)緑地面積

緑化率

20.1 %

条例基準分

20.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用 雨水貯留量 0.0 t うち雨水利用量

0.0 t

利用目的

【□ 植栽水やり□トイレの流し水□ 洗車□ その他

(4)上記以外の主な実施内容

・屋上の防水層に遮熱塗料(462.9㎡)を塗布しました。

・本市の自然状況や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう色彩や形状に配慮しました。

・防犯対策などに対応できる防犯カメラを導入し、安心安全に配慮した適切な整備しました。 た。

・全住戸のサッシには複層ガラス(一部Low-E複層ガラス)を採用し、断熱性能で等級4を取得しました。

環境まちづくりの概要(3) 2. 方針からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
1	一部実施する	実施した
31	実施する	該当なし
42	実施する	該当なし
48	一部実施する	実施した
63	一部実施する	実施しない
64	一部実施する	実施しない
65	一部実施する	実施した
83	一部実施する	実施した
84	一部実施する	実施した
88	実施する	該当なし

. その他(本ガイドラ	 		

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン取 組事項を実施します。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実施内容(実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気流	F染や騒音などの公害の防止します。		
建設	幾械 		
1	低公害型建設機械の使用	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	低騒音型・低振動型・排出ガス対策型の建設機械を使用しました。
2	低燃費型建設機械の使用	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	低燃費型の建設機械(ハイブリット式パワーショベルなど)を8割程度使用しました。
3	アイドリングの禁止	□ 実施しない □ 該当なし	排出ガス、騒音の低減を図るため、アイドリングをしませんでした。
4	環境に配慮した運転	□ 実施しない □ 該当なし	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
5	稼動台数の抑制	□ 実施した □ 一部実施した	エ事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6	工事の平準化	☑ 実施した □ 一部実施した	一時的に集中して稼働しないよう工事の平準化を図りました。
7	機械類の整備点検	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建設機械は、適切に整備点検を行いました。
工事	関連車両		
8	低公害車の使用	□ 実施した □ 一部実施した	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しました。
9	大阪府条例に基づく流入車規制の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	大阪府生活環境の保全等に関する条例に基づく流入車規制を遵守しました。
10	工事関連車両の表示	□ 実施した □ 一部実施した	工事関連車両であることを車両に表示しました。
11	周辺状況に配慮した走行ルートや時間帯の設定	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	周辺地域への影響を最小限とするように注意して工事を行い、児童や生徒の登下校となる時間帯の重機の搬入は避けて設定しました。
12	建設資材の搬出入における車両台数の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両 台数を抑制しました。
13	工事関連車両台数の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	作業従事者の通勤などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、 相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14	土砂の積み降ろし時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の 飛散防止に配慮しました。
15	タイヤ洗浄	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現地でタイヤ洗浄を行いました。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	ドラム洗浄時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に 配慮しました。
17	場外待機の禁止	☑ 実施した □ 一部実施した	工事関連車両を場外に待機させませんでした。
18	クラクションの使用抑制	□ 実施しない □ 該当なし	クラクションの使用は必要最小限にしました。
19	アイドリングの禁止	□ 実施した □ 一部実施した	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングしませんでした。
20	環境に配慮した運転	□ 実施した □ 一部実施した	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いました。
工事方	法 振動等		
	防音シートなどの設置	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	工事の進捗に応じて必要な仮囲いを設置しました。
22	丁寧な作業	☑ 実施した □ 一部実施した	建設機械の稼働音の抑制や建設資材の落下音の防止等、丁寧な作業 を行いました。
23	騒音や振動の少ない工法の採用	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤、家屋等に影響を及ぼさないよう騒音や振動の少ない工法を できる限り採用しました。
24	近隣への作業時間帯の配慮	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	建設機械の使用等の音や振動が発生する作業は、近隣住民に配慮した時間帯に行いました。
粉じん	・・アスベスト		
25	解体、掘削作業の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
26	飛散防止対策	☑ 実施した □ 一部実施した	土砂などの堆積場で、粉じんが飛散するおそれのある場合は、飛散防止対策をしました。
27	アスベストの調査など	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物は解体済みのため該当しませんでした。
28	アスベストの飛散防止措置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物は解体済みのため該当しませんでした。
水質	└────────────────────────────────────		•
29	濁水や土砂の流出防止	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	道路、雨水側溝や河川等への土砂や汚水等の流出を防止しました。
30	塗料などの適正管理及び処分	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	塗料等の揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分しました。
31	土壌汚染物資の拡散防止措置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	法令に基づく地歴調査の結果、有害物質による汚染のおそれはありませんでした。

			T			
	取組事項	実 施 の 有 無	実施内容(実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)			
32	地盤改良時の配慮		セメント及びセメント系改良剤を使用する地盤改良の際は、六価クロム溶出試験を実施し、土壌や地下水を汚染しないよう施工しました。			
33	周辺地盤、家屋などに配慮した工法の採用	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。			
悪臭・	<u> </u>					
34	アスファルト溶解時の臭気対策	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮や溶解温度管理等の臭気対策を行いました。			
35	現地焼却の禁止	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	現地では廃棄物などの焼却は行いませんでした。			
36	解体時の環境汚染対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	既存建物は解体済みのため該当しませんでした。			
37	仮設トイレ設置時の臭気対策	☑ 実施した □ 一部実施した	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮 等により臭気対策を行いました。			
地域の	安全安心に貢献します。					
38	地域との連携における事故の防止	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、必要な人数 の警備員を配置し事故防止に努めました。			
39	児童などへの交通安全の配慮	図 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に 配慮しました。			
40	夜間や休日の防犯対策	図 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出 入口を施錠するなどの対策を講じました。			
41	児童などへの見守り、声かけ	図 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守りと声掛けなどに可能な限り 取組みました。			
42	地域の防犯活動への参加	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	近隣自治会などから、要請がありませんでした。			
環境に	- 配慮した製品及び工法を採用します。					
省エオ	 ルギー					
43	エネルギー消費の抑制	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費抑制に努めました。			
省資源	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		•			
44	残土発生の抑制	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、可能なかぎり残土の発生を抑制しました。			
	廃棄物の減量	☑ 実施した □ 一部実施した	可能なかぎり廃棄物の減量に努めました。			
快適な	快適な環境づくりに貢献します。					
景観						
46	仮囲い設置時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 しました。			

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)		
47	仮設トイレ設置時の配慮		仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を与えないよう、設置場所などを工夫しました。		
周辺の	D環境美化				
48	周辺道路の清掃	☑ 実施した □ 一部実施した	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、隣接の工事に関与する道 路の清掃を行いました。		
49	場内整理	□ 実施した □ 一部実施した	建設資材、廃棄物などは適正に管理し場内整理を行いました。		
ヒート	アイランド現象の緩和				
50	打ち水	□ 実施した□ 実施しない□ 実施しない□ 該当なし	夏期において、水道水を用いて、周辺道路などに打ち水を行いました。		
地域と	の調和を図ります。				
工事記	说明·苦情対応				
51	工事内容の事前説明及び周知		近隣住民に対し、施工前は、工事概要や作業工程等を十分説明し、施工中は、適宜、現況と今後の予定を知らせ、理解と協力を得るようにしました。		
52	苦情対応		当該工事に関する連絡先等を近隣住民に見やすい位置に掲示し、近隣住民から苦情が生じた場合は、事業者の責任において、真摯に対応しました。		
周辺の	D教育・医療・福祉施設への配慮				
53	工事内容の事前説明及び工事計画の配慮		介護老人保健施設つくも、あやめ保育園などに対し、工事実施前に工事概要、作業工程などを掲示するなどにより周知を行い、地域での行事などに配慮した工事計画に努めました。		
54	騒音、振動などの配慮		介護老人保健施設つくも、あやめ保育園などに対し、騒音・振動などの抑制に努め配慮を行いました。		
周辺(周辺の事業者との調整				
55	複合的な環境影響の抑制		工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の 通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域にお ける大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者など と連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めました。		

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度の活用	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度 を活用し、CASBEEはB+を取得しました。
57	高効率及び省エネルギー型機器などの採用	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	給湯効率95%・暖房効率89%の給湯器(エコジョーズ)を24台採用しました。照明器具は消費電力の少ないLEDを463台採用しました。
58	再生可能エネルギーの活用	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	事業採算上、今回は採用しませんでした。
59	エネルギー効率の高いシステム及び機器導入 の検討	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	給湯効率95%・暖房効率89%の給湯器(エコジョーズ)を24台採用しました。
60	冷媒漏えい(使用時排出)の防止	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全に設計に配慮しました。
61	建築物のエネルギー負荷の抑制	□ 実施した □ 一部実施した	全住戸のサッシには複層ガラス(一部Low-E複層ガラス)を採用し、断熱性能で等級4を取得しました。
62	長寿命な建築物の施工	□ 実施した □ 一部実施した	基本構造の耐久性を高め、長寿命化を図りました。劣化対策等級3を取得しました。
63	環境に配慮した製品の採用	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	リサイクル製品などの資源循環や環境保全に配慮した製品の採用に 努めましたが、事業採算上採用には至りませんでした。
64	製造に要するエネルギーが少ない建設資材の採用	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	高炉セメントの利用等検討しましたが、構造計画上既製杭を採用したため、採用には至りませんでした。
ヒート	ー アイランド対策を行います。		
65	ヒートアイランド対策	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	屋上の防水層に遮熱塗料(462.9㎡)を塗布しました。
自然斑	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
66	動植物の生息や生育への配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	土地利用計画上、付置義務緑地以上に動植物の生息や成育に配慮された緑地を確保することができなかったため。
67	地域のシンボルツリーの保全	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	既存シンボルツリーはありませんでした。
68	既存の植生の保全	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	既存植生はありませんでした。
69	生物の生息空間の保全	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	周辺に緑地はなく、生物の生息空間がなかったため。
70	駐車場緑化	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	共同住宅なので、駐車時間が長く、日当たりが良好ではないことから、 緑の生育が期待できないため、実施しませんでした。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	屋上緑化など	□ 実施した□ 一部実施した☑ 実施しない□ 該当なし	住戸数も24戸と少なく、メンテナンスが負担になるため、実施しませんでした。
72	法面緑化	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	法面はありませんでした。
73	植栽樹種の選定	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	植栽植樹は、地域の環境に合わせた樹種を選定しました。
水循環	景を確保します。		
74	水資源の有効利用	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	雨水を利用する設備を設置するスペースおよび費用がかかるため実施しませんでした。
75	雨水流出を抑制する施設の設置	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	雨水浸透桝を9箇所設置しました。
	雨水浸透への配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	雨水浸透桝を9箇所設置しました。
	D生活環境を保全します。		
	騒音・振動等 騒音を発生させる設備設置時の配慮	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	本工事で実装する空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、低騒音型機器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や振動対策を行いました。
78	防音サッシの設置	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	周辺状況の確認によりサッシの選定および設置を行いました。(T-1 サッシ)
79	駐車場の配置計画時の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音に配慮した駐車場計画に努めました。
80	近隣への悪臭及び騒音の配慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	近隣への悪臭、騒音などに配慮した計画に努めました。
81	ボイラーなどの機器設置時の排出ガス対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	該当する機器の設置はありませんでした。
82	屋外照明や広告照明設置時の配慮	② 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	駐車場の照明には高さの低い庭園灯を設置しました。
83	建築資材による光の影響の考慮	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	建築資材(ガラスなど)による太陽の反射光については、設置の際に光 の影響を考慮しました。
84	環境に配慮した塗料の使用	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用しました。
85	周辺の教育、福祉や医療施設への配慮	② 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	介護老人保健施設つくも、あやめ保育園などに対し、騒音・振動などに 特段の配慮をしました。

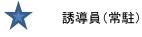
	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
中高層建築物(高さ10メートルを超える建築物)			
86	日照障害対策	□ 実施した □ 一部実施した	日照障害については、建築基準法の日影規制対象外地域を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明しました。
87	電波障害の事前把握及び近隣説明	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲 図を作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。
88	電波障害発生時の改善対策	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	電波障害は発生しませんでした。
89	プライバシーの配慮	☑ 実施した □ 一部実施した	近隣住民のプライバシーに配慮し一部に型板ガラスを採用しました。
景観まちづくりに貢献します。			
90	地域への調和	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	本市の自然状況や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう色彩や形状に配慮しました。
91	景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた 計画及び設計	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づき、色彩など配慮した計画と設計を行いました。
92	景観形成に関わるガイドラインや方針に配慮した計画及び設計	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	景観形成に関わるガイドラインや方針を有するエリアではガイドラインなどに配慮した計画と設計を行いました。
93	景観形成地区指定の協議	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	計画区域や建設敷地が1haを超えないため、景観形成地区の指定については該当しませんでした。
94	景観形成基準の遵守	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進しました。
95	屋外広告物の表示などに関する基準の遵守	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	屋外広告物はないため、該当しませんでした。
96	歩行者が安全に通行できる空間整備	□ 実施した □ 一部実施した	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者が安全に通行できるよう歩車分離を図り空間を整備しました。
97	災害時、緊急時対応のための安心安全に配慮 した整備	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	災害時の防災対策や緊急時に対応できるよう、管理人室に救助用資機材(バール、ジャッキ、ハンマーなど)を設置しました。
98	防犯対策のための安心安全に配慮した整備	□ 実施した □ 一部実施した	防犯対策などに対応できる防犯カメラを導入し、安心安全に配慮した適切な整備を行いました。

工事関連車両運行ルート図

住所 大阪府吹田市津雲台5丁目16番







── 搬出入車両